

1 回定例会一般質問

ねんせいしゅうがっこう いまがわちゅうがっこう ながたちしょうがっこう はいこう かつよう ぶんかかつどう ば いばしよ
練成中学校、今川中学校、永田町小学校など廃校を活用した文化活動の場・居場所づくりについて

ねんまえ ちよだく じゅうみん まんにん わ こ やかん
 30年前の千代田区では住民が4万人を割り込み、夜間
 じんこう まんにん かほ もくてき こうきょうしせつせいはいちこう
 人口5万人確保することを目的に『公共施設適正配置構
 そう はつびよう のっと くりがっこう とうはいごう げんざい
 想』を発表しそれに則って区立学校が統廃合された。現在
 く やかんじんこう まんにん た こんご そうか みこ
 区の夜間人口は6万人に達し今後も増加が見込まれる。
 ともな ちいき かたがた こうれいしや いばしよ こどもたち あそ
 それに伴い地域の方々・高齢者の居場所、子供達の遊び
 ば ふどうこうじどう いばしよ ぶかつどう ばしよ くみん ぶんか げい
 場、ふどうこうじどう いばしよ ぶかつどう ばしよ くみん ぶんか げい
 不登校児童の居場所、部活動の場所、区民の文化芸
 じゅつさくみん ぼそん てんじばしよ すく もんだい はいせい
 術作品の保存、展示場所なども少ないなどの問題も発生



ぶかつどう ていきき たく あし はこ
 している。部活動などでは定期的に他区まで足を運んで
 くみん すく
 いる区民も少なくない。
Q 区民が様々な活動や居場所として廃校が活用できる
 せいいい けんどう
 ように整備することを検討してはどうか。
A はいこう かつよう ざんていてき こんご
 廃校の活用は暫定的で、今後の
 かくじゅう じつげんかのうせい しんちよう
 サービス拡充は実現可能性に慎重な
 けんどう ひつよう さまざましけん じゅうよう せいさ おこな
 検討が必要。様々な観点から需要の精査を行っていく。



DXについて（書かない窓口、支援のプッシュ通知、インターネットリテラシーについて）

く まどぐち すいしん とく まどぐち
 区はスマート窓口の推進に取り組んできた。窓口のキャッ
 けつせい しよくいん じゅうぶん しゅつちよう
 シュレス決済をはじめ、職員の十分なサポートのもと、出張
 じよ けつせい しょうがいしやわ そうだん まどぐち
 所とかがやきプラザを繋ぐ高齢者向けオンライン相談窓口
 せききょくてき じつげん
 などのDXが積極的に実現されている。
 くりつがっこうしえん
 区立学校支給のタブレットではLINEなどのチャットアプリ
 せいてい じどう なか
 はインストールできない設定だが、児童たちの中にはタブ
 ない りよう やす ひ かいわ おこな
 レット内のアプリを利用して休みの日にも会話が行われて

しろう けけん
 おり「いじめ」などが生じる懸念がある。
Q オンライン窓口の対象を障がい者にも拡大、書かない窓
 ぐち しんせい しょうがいしやけん てつづ かくだい
 口で申請できる障害者支援の手続きまで拡大してはどうか。
 こうしゅう きょういく おこな
 インターネットリテラシーについて講習・教育を行うべきでは。
A しえん かくじゅう ひ つづ かだいとう はあく つと
 支援の充実へ引き続き課題等の把握に努める。
 てつづ たいしいうしやかくだいとう すず
 手続きガイドの対象者拡大等を進め、オンライン窓口等も
 けんどう すず
 検討を進めていく。

障害児の子育て支援について

ちよだく しょうがいじ たいしいう とうばつてき いちじあず
 千代田区には、障害児を対象にしている突発的な一時預か
 しえんじきよう がくれいきいじよう さいいじよう じどう たいしいう
 り支援事業は、『学齢期以上つまり6歳以上の児童』を対象。
 いりようてき ひつよう しょうがいしやそうごうしえんほう かいごきゅうふ
 医療的ケアの必要ない、障害者総合支援法の介護給付など
 う かた げんてい しえんじきよう そんざい
 を受けていない方のみに限定された支援事業しか存在しない。

しょうがいじたい おうかのう たいしいうじきょうしや かく
Q 障害児対応可能なベビーシッターの対象事業者の拡
 じゅう みしゅうかくばじ いちじあず しえん かくじゅう けんかい うかが
 充、未就学児の一時預かり支援の拡充について見解を伺う。
A かのう はんい うい しえん かくじつ ひ つづ
 可能な範囲で受け入れており、支援の充実へ引き続き
 かだいとう はあく つと てつづ たいしいうしやかくだいとう すず
 課題等の把握に努める。手続きガイドの対象者拡大等を進
 まどぐちとう けんどう すず
 め、オンライン窓口等も検討を進めていく。

バリアフリーマップについて

ちよだく えんかつか けいろ かくほ ひつ
 千代田区では円滑化された経路のワンルート確保が必須
 くない ぎき りよう
 である。区内の駅において100%エレベーターを利用した
 かくほ たつせい ぐみん じょうきよう くない
 のワンルート確保が達成されている状況だが、区内には乗り
 い るせん おお えき たすうそんざい えき だいき
 入れ路線が多い駅も多数存在し、駅に1台だけあるエレ
 べーターを利用すると改札階に降りてからかなりの距離を
 いどう もくてき るせん たどつ かだい
 移動して目的の路線まで辿り着くなどの課題がある。
 くの バリアフリーマップは毎年、ボランティアの方々が学区
 ない さんさく しょうしん じょうきよう
 内をくまなく散策して更新している状況です。

たじたい くるまいすしいうしや こうれいしや
Q 他自治体のようにアプリで車椅子使用者、高齢者、ベ
 しょうしや そくせい せんたく
 ビーカー使用者などの属性を選択するとそれぞれのニーズ
 おう ひょうじ ひびうつ か
 に応じたバリアフリールートを表示や、日々移り変わるバリア
 じょうほう ぐみん じょうほう じょうほう ついか
 フリー情報を区民が「ユーザー体験」の情報を追加できる
 しきみ
 ような仕組みにしてはどうか。
A りよう ねんどう お かつよう
 スマートフォンの利用を念頭に置いたアプリの活用や
 きのう ついか
 ルートのナビゲーションができる機能の追加など
 か げんじよう けんしやう
 のデジタル化については、現状のマップの検証を
 ふ ひ つづ けんきゅう
 踏まえ引き続き研究していく。



2 回定例会一般質問

ちよだく ちいき つうか
千代田区地域通貨について

さまざま じぎょう じぎょう じし
 これまで様々なキャッシュレス事業やポイント事業を実施し
 べつべ ほうほう じし
 てきたが、そのたびに別々の方法で実施するとデジタルデ
 しょう ぐみん いがい どうよう りよう
 バイトも生じやすく、区民以外も同様に利用できてしまう方
 ほう ぐみん かんげん たじたい ちようかい せい
 法では区民にも還元されにくい。他自治体では町会や清
 そうかつどう さんか ちいきつうか かんげん
 掃活動に参加することで地域通貨を還元している。千代田
 くどじ ちいきつうか みんかん おお
 区独自の地域通貨とPayPayなど民間のサービスとの大
 ちが かもいてん てすりりよう ふたん もと けつざい
 きな違いは、加盟店に手数料の負担を求めず、決済のた
 くらがい けつざいじきょうしや てすりりよう
 びに区外の決済事業者に手数料をとられないことにある。

Q ちいきけいざい ちようかい かつせいか ちいきち
 地域経済や町会コミュニティの活性化、地域価値
 はつづつ せくしん む くみん りえき かんげん
 の発掘の促進に向けて、区民にも利益が還元しやすい
 どうにゅう けんどう
 『ちよだPay』の導入を検討しては。
A ちいき か
 地域のスマート化
 とりく ひと
 への取組みの一つとし
 かつよう かのうせい た
 て、活用の可能性を多
 かくてき けんどう
 角的に検討する。



ちよだく すいしん
 千代田区のDX推進キャラクター chiyodx（ちよだっくす）

特性凸凹のある児童の教育支援について

しやうがい こ おな ばしよ
 インクルーシブとは障害のある子どもない子も同じ場所
 す ぶつさきゅう こおな かんきやう
 で過ごさせるということではない。普通級の子と同じ環境で
 おな かにて ふかのう
 同じことをチャレンジして苦手なことでも不可能なことでも
 なんでもみんなと一緒にのことをやろうということでは断じ
 ない。
 こども こうりゅう きやうしつ とも す おな きも
 子供たちが交流する、教室などで共に過ごし、同じ気持ち
 きやうかん きやうめい いどな いどな しぜん
 で共感する、共鳴する、みんなで営んでいる営みを自然に
 きやうゆう ほんしつ
 共有するというのが本質である。
 ほんしつな けいしき ひど ばしよ おさ こん
 本質無くして形式だけで一つの場所に収めようとする困
 なん かなか どうじしや こども そがいかん じこけん れつどう
 難を抱えている当事者の子供の疎外感、自己嫌悪、劣等
 かん う
 感を生んでしまいかねない。

Q がっこう ふたんけいげん じどう こころ きず まえ
 学校の負担軽減、そして児童の心が傷ついてしまう前
 じんそく きばう てきせつ かくしゅうかんきやうみ お じどう
 に迅速に希望する適切な学習環境に身を置けるよう、児童
 ぼごしや きばう しえんしや がっこう くやくしや よこし れんけい
 ・保護者の希望を支援員、学校、区役所と横串で連携して
 いかが じどう てごぼこ ぶどうこう ことから
 は如何か。児童の凸凹や不登校などセンシティブな事柄に
 かん こうしゅう さい なまき かお ぶ
 関する講習やイベントの際に、名前や顔を伏せたプライバ
 はいりや かんきやう じゆうこう
 シーに配慮した環境で受講できるようにするべきでは。
A げんざい はいりや たいめん けいしき おこな
 現在はプライバシーに配慮して対面の形式で行ってい
 さんかしや けつかどう ぶ さんか
 るが参加者のアンケート結果等も踏まえながら、より参加し
 かいさいほうほう
 やすい開催方法やプログラム
 ないようとう じゅうぶん けんどう
 内容等について十分に検討
 していく。



さいしゅうび どうきやうとちじせんきよ がつまつ どうきやうとだい く
 最終日には、東京都知事選挙や4月末の東京都第15区
 ぼつせんきよ かんが こそせい せんきよかつどう けんぜんせい とも
 補欠選挙を鑑み、公正な選挙活動の健全性を取り戻す
 せいふ たい すみ たいおう もと けいしきん
 べく政府に対して速やかな対応を求め、有志議員により

せんきよかつどう けんぜんせい かくほ
 『選挙活動の健全性を確保するために
 せいふ すみ たいおう もと いけんしや
 政府の速やかな対応を求める意見書』
 ていしゅつ かけつ
 を提出し、可決されました。



区民歯科検診を実施しています

くみん しか けんしん じし
 国は、80歳になっても20本以上自分の歯を保とうという
 うんどう すず ほんいじよう は
 「8020運動」を進めています。80歳で20本以上の歯を
 も しんしん けんこう す ひころ
 持ち、心身ともに健康に過ごすためには、日頃から歯の
 けんこうかんり たいせつ く さいいじよう かた たいしやう
 健康管理が大切です。区は、19歳以上の方を対象に、
 ば ししゅうしつかん そうきはっけん そうきちりよう よばう もくてき
 むし歯や歯周疾患の早期発見・早期治療や予防を目的

として、区民歯科健診を実施します。
 れいわ ねんど さいいじよう
 また、令和5年度から65歳以上の方を対象にオーラルフレ
 こうくうきやう
 イルや口腔機能
 かん けんさ
 に関する検査を
 じし
 実施しています。

